

平成 27 年度「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」

国立大学法人岩手大学（三陸復興推進機構生活支援部門 ボランティア班）三陸復興サポート学生委員会の被災地支援活動

取組事業名

- ・ 協働事業
※高田和野地区、他大学との連携による地域コミュニティ支援
- ・ 地域課題を学ぶ事業
※フォーラムの運営 他支援団体との交流事業

岩手県 陸前高田市

学校名

陸前高田市 矢作小 高田一中ほか

※該当する内容に○

活動内容

学校支援	学習支援	部活動指導	美化・環境整備	登下校指導	学校行事・その他
放課後等支援	学習支援	体験・交流活動	遊び・スポーツ	学童クラブとの連携	その他
		○			
学校と地域の協働学習	復興学習	防災教育	伝統文化・芸能	職業体験・キャリア教育	イベント・行事・その他
			○		○
家庭教育支援	家庭教育講座	親子参加行事	サロン・相談対応	家庭訪問相談	その他
		○	○		
地域課題に応じた額習	高齢者支援	心のケア・健康管理	生活再建・地域づくり	地域人材育成	その他
	○	○	○		

取組概要

【協働事業】

東北大学、和野地区自主防災会、矢作地区コミュニティ推進協議会らと連携し、伝統行事の運営支援や地域課題のワークショップなどを開催。

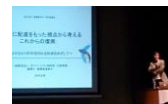
☆七夕祭りの準備の様子



【地域課題を学ぶ事業】

多様化する地域課題と現在の社会的課題を学び、6年目以降の復興支援のニーズの捉え方に新たな視点を取り入れた。

☆復興庁参与・田村太郎氏の基調講演の様子



事業成果

【協働事業】

被災地の方、様々な災害の現場で活躍をされてきた方、多くの他大学の学生など、多種多様の方々との交流、出会いの場にもなり、支援する側も今までの考えなどを問い直し、新たな認識などを取り入れることが出来た。また、他大学との連携事業として新年度から横田地区での活動がスタートするが、こちらの発端も、今回の取組で学生と地域の間で企画が進んだことだった。



【地域課題を学ぶ事業】

フォーラムでは、これまで中々得られなかった被災地の課題（長時間労働や非正規雇用、ひとり親や子供の貧困等）、を学生や参加者が視点として得られ、今後の支援活動・政策等様々な場面で活かせるものとなった。また、これまで接点のなかった団体同士が新たにつながったことで、支援者間のネットワーク拡大も実現し次年度以降の協働など、様々な可能性が得られた。



課題と今後の取組

【支援者の課題】学生委員会がサークル化を通じ自立化した運営を模索していくが、資金調達などの面での交渉経験や申請経験が少ないため、来年度は日々手探りの運営となる

【地域の課題】多様な課題が明るみに出たものの、人口構成等で優先的に取り組む課題とそうではない課題が存在する。特に若者・子育て世代に係る課題に対し学生がどのような視点で今後コミットしていけるかは、今後模索すべき課題となる